

八王子市青少年健全育成基本方針 家庭・学校・地域の連携のもと 健全な「はちおうじっ子」を育てよう



次代を担う青少年が意欲や自信を持って健やかに成長し、自立した心豊かな社会人になることは、市民すべての願いです。本市の青少年健全育成の目指すところは、青少年が様々な人とかかわりながら、豊かな人間性や、判断力、健全な心と体を獲得し、自ら力強く生きるとともに、新たな時代を拓く力をつけていくことにあります。そのためには、基礎となる家庭での教育の充実と、それを支える地域ぐるみでのつながりを育む環境づくりが必要です。八王子に暮らす大人一人ひとりが青少年を育成する担い手です。子どもたちのために、それぞれが持ちうる力によって、心を通わせ理解しあえる豊かな地域社会を構築していくことが大切です。

八王子市では青少年の健全育成を推進していくために、家庭・学校・地域、そして、市及び関係行政機関の役割とそれぞれの責任ある行動の基本となる方針を掲げました。ともに手を携え、これらの方針を実現していくことで、意欲あふれる健やかな「はちおうじっ子」を育成していきます。

家庭の役割 子どもの健やかな成長の基本

- 親から子へ伝えよう、思いやり・感謝の気持ちの大切さ
- おはようから始まる基本的な生活習慣と家族で作ろう、みんなのきまり
- 地域に目を向け、親子で一緒にやってみよう

学校の役割 家庭・地域とともに、生きる力を育む教育

- 学ぶ意欲や豊かな心を育む教育
- 健やかな心と体を育む体験活動の充実
- 地域とつながる学校づくり

地域の役割 一人ひとりの力を持ちより、高める地域の子育て力

- 地域の大人が手本となって続けていこう、あいさつ・声かけ
- 青少年が活躍できる地域づくり
- 人とひととのつながりで広げていこう、地域の安全・安心

市・関係行政機関の役割 連携とサポート体制の充実

- 家庭・地域・学校をつなぐコーディネート機能の充実
- 青少年健全育成活動の支援
- 人材育成支援と情報提供の充実

平成 27 年度 八王子市青少年健全育成推進区域

八王子市青少年健全育成推進区域は、全市の青少年健全育成のモデル地区です。平成 27 年度は第六地区に決定しました。推進区域では、「あいさつ運動」や「子どもの意見発表会」などを実施し、地域住民への健全育成の啓発等を積極的に進めていきます。

調査・審議 八王子市青少年問題協議会
発行 八王子市
事務局 八王子市子ども家庭部児童青少年課
(Tel 042-620-7435 Fax 042-627-7776)

みんなでつないでいこう 思いやりの心

「遊びの誘いを断われたから」、「あの子だけ〇〇を持ってないから話が通じない」などいじめのきっかけの多くは、驚くほどささいなことです。また、いじめる子といじめられる子が入れ替わり次々といじめの対象になることもあり、多くの子どもたちがいじめ被害にあいながら、一人で悩み苦しんでいます。また、最近、問題となっている「ネットいじめ」は、実態が見えにくい陰湿化しやすく、子どもたちは大人の気づかないところで精神的に追い詰められていきます。

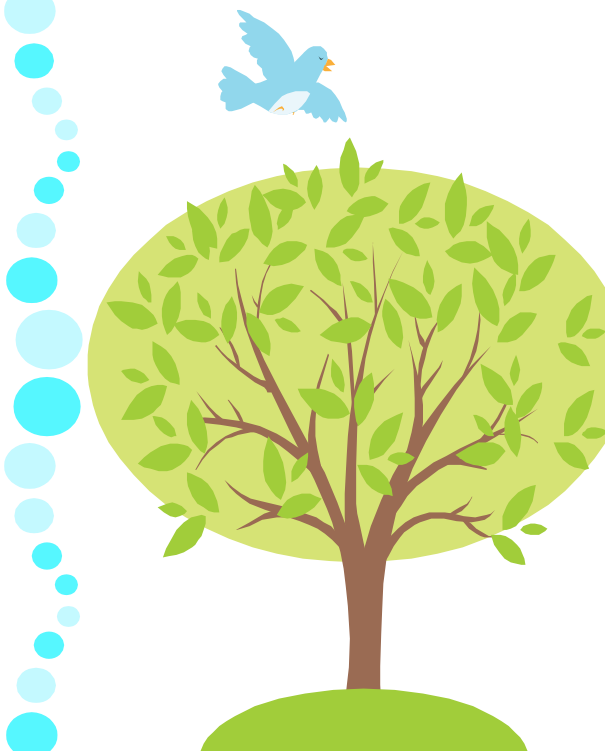
子どもたちが「もう、学校に行きたくない…」と勇気を振り絞って発した言葉に対して、学校に行きたくないという親の願いから「誰に何をされたの？」と子どもの気持ちを受け止める前に先回りしてしまいがちです。一方、子どもたちは親の動揺を感じるうちに、「心配をかけたくない」、「わかってもらえない」と再び気持ちを閉ざしてしまいます。こうした心のすれ違いは、一番身近な親子の間でも起こるものです。

親が子どもの心に寄り添い、信じるそして思いやる愛情こそが、子どもに大きな「安心と勇気」を与えます。そうした親の行動を通じて、子どもは自分自身の問題としっかり向き合い、自ら問題を乗り越えていく力を育んでいきます。

子どもたちが健やかに成長していくためには、日々の生活の様々な場面で、大人が子どもへ思いやりの心の大切さをしっかり伝えていくことが大切です。家庭・学校・地域が一体となって、思いやりの心の輪をみんなで広げていきましょう。



つながり、ひろがる 思いやりのこころ



市内のある小学校では、感謝の気持ちをカードや手紙に書いて掲示する「ありがとうの木」運動を4年にわたり実施しています。友達、家族、地域の人へ感謝の気持ちを伝えるのが「ありがとうの木」です。最初はお礼として書いていた子どもたちが、今では「ありがとうの木」が空に向かって、葉をつけ枝を伸ばすように、心から突き抜けるような強い意思を持ってたくさんの「ありがとう」を見つけ続けています。

また、市内のある中学校では、生徒会の発案により生徒が部活動単位であいさつ運動を実施しています。生徒の企画・運営により始まったこの運動に、今では多くの保護者も参加し、「活動範囲を校門前だけでなく、外にも広げていこう！」と積極的な意見も出ており、生徒たちにあいさつを大切にしていこうという気持ちが育まれています。

1. 子どもたちに信頼している気持ちを伝えよう

子どもたちが自分に向きあい、勇気を持って行動できるようになるためには、**自ら考える機会を与える**ことや、**日常の中の小さな達成感を見守ってあげる**ことが大切です。子どもが失敗しそうな時に、何も言わずに見守ることは親にとってなかなか難しいものです。しかし、「何事も経験」と**親が愛情を持って見守る**ことは、子どもを信じているというメッセージを送ることであります。



例えば、つい帰宅が遅くなってしまった時に子どもは内心「しまった、怒られる…」と思うものです。

しかし、寝ずに待っていた親から叱られるどころか、ただ安堵の眼差しを向けられたら、子どもはどう思うでしょうか。やってしまったことへの反省だけではなく、自分を大切に思い、信じてくれる親の愛情が心にしみる貴重な経験となるかもしれません。



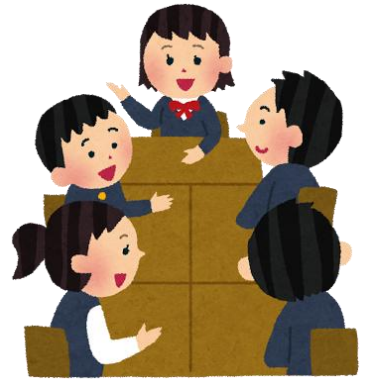
もし、子どもが何か新しいことに挑戦してみたいといった時は、「やってみたら」と送り出してあげてください。そして、うまくいかず、くじけそうになった時は、子どもの気持ちに心を向け温かく見守ってあげてください。**親が子を思いやる気持ち**は子どもにとって何よりも大きな支えとなります。

本来、子どもは大人よりずっと前向きで好奇心が旺盛で、経験を糧にしていくといった優れた力の持ち主です。こうした力を信じて、様々な経験を重ねさせてあげましょう。そして、「我が子は失敗しても、また立ち上がる強さを持っている」と親が信じ見守ってくれていることに子どもが気づいたとき、それは何よりも大きな**安心と勇気の源**となり、子どもは自らの力で問題を乗り越えていく力を発揮していくことでしょう。



2. みんなで話そう いじめ・ネットのこと

携帯電話やスマートフォンが夜遅くまで手放せない子や、メッセージを読んでいることを責められる、LINE（ライン）で仲間はずれにされるなどの「ネットいじめ」で多くの子が悩み苦しんでいます。しかし、悩みを打ち明けることは勇気がいり、なかなかできません。また、「いじめについて相談しよう」と呼びかけられても、いじめを身近なものとして感じている子ほど「大ごとになってしまうかも…」などの不安から口を閉ざしてしまいがちです。



そこでまずは、「携帯電話やスマートフォンの使い方」など様々な考えや思いを話しやすいテーマから、**子ども同士で話し合う機会をつくりましょう**。みんなで話をすることで、友達が自分と同じような思いや逆に違う考えも持っていること、友達の言葉に悩みを解決するヒントがあること、思いがけず自分の言葉が友達の役に立つことなどを知ることができます。こうした経験を重ね、話し合うことや**相談することの大切さ**とともに、人から相談され、**頼りにされることの喜び**を得ることができます。



家庭では「早く、〇〇しなさい」といった指示や行動を促す言葉が多くなりがちですが、「楽しかったね」、「辛かったよね」といった**思いを伝えあう言葉**を大切にしましょう。こうした会話は、自分の思いを正直に話すことの出来る心安らぐ時間となり、友達同士で思いを伝えあう素地をつくっていきます。

3. 続けていこう！ 子どもたちへのあいさつ・声かけを

子どもたちの元気なあいさつやはつらつとした姿は、大人にエネルギーを与え気持ちを明るくしてくれます。あいさつ・声かけは、人とひととのつながりを育みながら、地域ぐるみで子どもたちを見守り育てていくために基本となる大切なことです。

しかし、まちで出会った子どもたちにあいさつをしても返答がないことが続くと、大人であっても気持ちが滅入ることもあります。こうした時、我が身を振り返りながら子どもの気持ちを想像してみてください。気恥ずかしさや知らない人への戸惑いから、あいさつしそびれることは大人でもあります。子どもであれば尚更でしょう。

たとえ、なかなかあいさつが返せなくても、子どもたちの心には「あっ、今日もいてくれた」、「毎日すごいな」、「次はあいさつを返してみようかな」と、いつも**笑顔を向けてあいさつしてくれる大人に対して、積み重なる思いや学び**はあるものです。

子どもたちを見守るということは、子どもたちの成長に合わせて待つことでもあります。地域ぐるみの子育ての良さは、子どもたちそれぞれのペースによる健やかな成長を楽しみにゆっくり待ちながら、日々の小さな変化に喜びを感じられることではないでしょうか。子どもたちが意欲や自信を持ち、健やかに成長していけるよう、**大人から子どもたちへあいさつ・声かけを地域・家庭・学校が一体**となって続けていきましょう。



～平成26年度を振り返って～

お母さん、お父さん
チェックしてみましょう！

～家族での会話～

- 子どもが朝起きてきたら「おはよう！」と声をかけていますか。
- 毎日、短い時間でも子どもの話に耳を傾け、一緒に会話をしていますか。
- 家族のだんらんの時間を作るように努めていますか。
- 自分の失敗談や恥ずかしかった出来事などを子どもに話してあげたことはありますか。

～携帯電話・スマートフォンの使い方～

- 大人であっても、夜遅くまで使わないようにしていますか。
- メールやLINE（ライン）など、文字のみのコミュニケーションは難しく、“相手の気持ちや状況を思いやること”が大切であることを子どもに伝えてありますか。
- 使い方や「ネットいじめ」について、家族で話題にしたことはありますか。
- 使い方について、家族で「ルール作り」をしていますか。

～子どもたちのお手本～

- 子ども目の見て「ありがとう」「ごめんね」など、感謝や反省の気持ちをきちんと伝えてありますか。
- 子どものお手本となるよう、何か意識して行っていることはありますか。

私のお父さん、お母さんは
いくつ当てはまるかな？



OK!

チェック